

土石防方だより



染る樹氷（西伊豆金冠山）

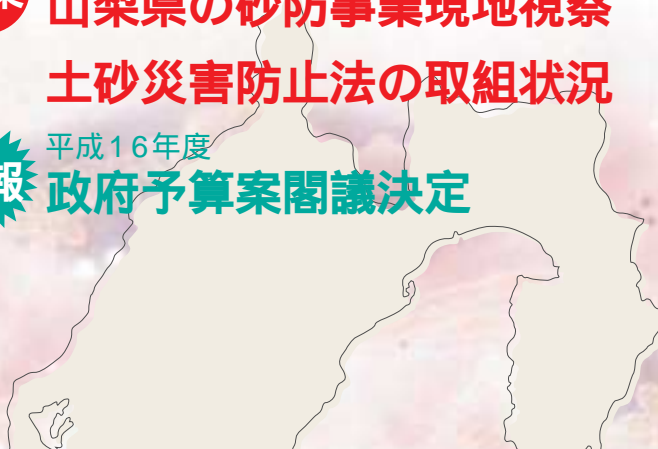
年頭のご挨拶	2
2003年しずおかの砂防10大ニュース	
平成16年度政府予算案閣議決定	3
全国治水砂防促進大会	
市町村等砂防担当職員研修	4
東海地区砂防協会支部長会議	
土石災害防止法への取組状況	6
わがまちの砂防 (東伊豆町・富士川町・豊岡村・浜北市)	10
砂防関係の主な行事 (H16.1~5月)	12

特集

市町村等砂防担当職員研修
**山梨県の砂防事業現地視察
土石災害防止法の取組状況**

速報

平成16年度
政府予算案閣議決定



年頭のご挨拶



全国治水砂防協会静岡県支部
支部長 石川嘉延

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、日ごろから当協会支部に対して御理解と御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、7月から8月の豪雨や台風を中心に、例年の平均を上回る65件の土砂災害が発生しましたが、幸いにも人的な被害は発生しませんでした。

金谷町の大井川鉄道神尾駅付近で発生した地すべりでは、鉄道が不通になり、現在もなお、沿線住民の方々の生活や観光産業に大きな影響を与えています。

土砂災害は、県民の皆様の安全な生活に大きな脅威をもたらすものであり、適切な対応が求められていることから、現在、土砂災害の発生する危険度が高い地域や、被害の影響が大きい地域において、重点的に砂防施設の整備を進めておりますが、土砂災害危険箇所が数多く存在するため、土砂災害に関する情報を県民に広く提供するシステムづくりや、土砂災害防止法に基づき土砂災害警戒区域等を計画的に指定し、警戒避難体制の整備や住宅の新規立地抑制等のソフト対策の推進によって、人的被害の未然防止に努めてまいります。

今年も、「富国有徳」の魅力ある地域づくりの実現のため、静岡県の砂防事業が更に推進できるように努力してまいりますので、会員の皆様におかれましては、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

2003年しずおかの砂防 10 大ニュース

- | | | | |
|---|--|----|---|
| 1 | 新支部長に石川嘉延静岡県知事、新体制スタート
5月30日の全国治水砂防協会県支部総会において、石川新支部長以下、新役員が決まり、支部の活動が活発に行われました。斉藤前支部長におかれましては、21年間の永きにわたりご苦労様でした。 | 2 | 平成15年度(第21回)土砂災害防止推進の集い(全国大会)を静岡県で開催
6月4日、グランシップ(静岡市)で土砂災害防止推進の集い(全国大会)を、また翌5日、県内3コースで現地研修会を開催し、全国から約1,000名の参加をいただきました。関係各位の御協力ありがとうございました。 |
| 3 | 平成15年発生土砂災害に災害関連緊急事業9件採択
平成15年は、例年を大きく上回る65件の土砂災害が発生しましたが、幸いにも人的被害はありませんでした。発生した土砂災害の内、緊急な対策を必要とする9箇所に対し、災害関連緊急対策事業で、迅速な対応を図っています。 | 4 | 八木元砂防課長が本県初の「赤木顕功賞」を受賞
3月13~14日の第43回砂防及び地すべり防止講習会において、本県の砂防行政の推進に多大な功績がありました八木元砂防課長が「赤木顕功賞」を受賞されました。おめでとうございます。 |
| 5 | 平成16年度由比地区における直轄地すべり対策事業調査の新規着手
12月24日、平成16年度の政府予算案が閣議決定され、由比地区における直轄地すべり対策事業調査の新規着手が認められました。 | 6 | 土砂災害危険箇所の公表及び位置情報の提供
砂防GIS(地理情報システム)を活用して、インターネットで県民に、6月から平成15年3月に国土交通省が公表した危険箇所15,193箇所の提供を始めました。 |
| 7 | 木和田川砂防二号堰堤(登録有形文化財)が決壊
7月3~4日の梅雨前線豪雨により、登録有形文化財に指定されている木和田川(岡部町)の空石張り(兜)堰堤8基の内、二号堰堤の中央部が決壊しました。現在、砂防災害復旧事業で復旧中です。 | 8 | 市町村長等青森県の砂防事業現地視察
7月24~26日、十和田・八幡平国立公園内の景観保全に配慮し水辺空間を楽しめる薫川火山砂防整備事業等、地域に密着し安全・安心社会づくりに貢献する青森県の砂防関係事業を視察しました。 |
| 9 | 国際交流 JICA研修生(インドネシア共和国)など本県の砂防施設視察
2月17~18日、インドネシア国砂防研究センターの職員2名、3月26~27日、台湾大学陳教授他18名が県土砂災害雨量情報提供システムや県内の砂防施設を視察しました。 | 10 | 市町村等職員山梨県の砂防事業現地視察
11月19~20日、歴史的に著名な砂防施設である御勅使川の芦安堰堤(登録有形文化財)や信玄堰など、山梨県の砂防施設を視察しました。 |

平成16年度 政府予算案閣議決定

12月24日、平成16年度の政府予算案が閣議で決定されました。砂防関係の決定額は下記のとおりです。
なお、この中で、由比地区における直轄地すべり対策事業調査の新規着手が認められました。

河川局所管砂防関係事業予算内示額 事業費

(単位:百万円)

事 項	前年度予算額 (A)	15年度内示額 (B)	対前年度比 (B/A)
砂防事業(地すべり対策事業を含む)	302,328	288,098	0.95
急傾斜地崩壊対策事業(雪崩対策事業を含む)	84,463	79,064	0.94
砂防関係事業 計	386,791	367,159	0.95

(注) 上表には、道路関連社会資本分、特定治水、剰余金等を含む

「全国治水砂防促進大会」開催される



綿貫会長挨拶

12月2日、全国治水砂防促進大会が東京都(千代田区)の砂防会館で開催されました。

当日は、全国から2,000余名の会員が参集し、当支部からも32名のご出席をいただきました。

大会は、綿貫全国治水砂防協会長の挨拶に始まり、石原国土交通大臣の祝辞を林国土交通副大臣が代読されました。続いて、会員の江口水保市長(熊本県)、永井白峰村長(石川県)からの意見発表が行われ、その後、服部大会副会長(三重県菰野町長)より今後の活動方針の提案が行われ、大久保理事長が決議を発表し、満場一致で採択されました。

大会終了後、当支部会員の皆様により、地元選出国会議員19名をはじめ、財務省、国土交通省へ本県支部要望書、全国治水砂防協会要望

書及び全国治水砂防協会代表理事会決議文を持参し、平成16年度予算の確保に向けての要望活動を行いました。
お忙しい中、ご出席をいただきました会員の皆様には心から御礼申し上げます。



主要な要望事項

1 直轄砂防事業の推進

【新規箇所】 由比地区地すべり対策事業調査

- 【重点箇所】
- 富士山の火山対策(活火山砂防調査)
 - 大沢川源頭部調査、大沢川中間床固工
 - 三河内川床固工群
 - 日向地区砂防堰堤群、徳永第4砂防堰堤

2 補助砂防関係事業の推進

土砂災害危険箇所への防災施設とソフト対策の着実な整備推進

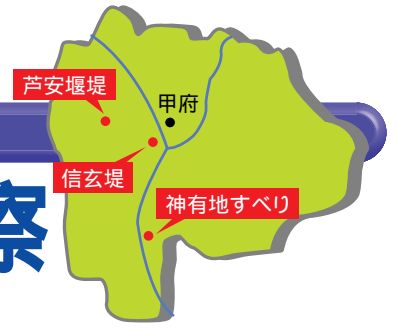
- 【重点箇所】
- 東海地震に備えた緊急的な防災施設の整備推進
 - 土砂災害防止法の施行に伴う「砂防基礎調査」の推進
 - 「土砂災害情報相互通報システム」の整備推進
 - 富士山火山砂防対策の推進
 - 「静岡市都市山麓グリーンベルト」の整備推進

参加市町村等

東伊豆町、河津町、賀茂村、沼津市、御殿場市、修善寺町、函南町、大仁町、天城湯ヶ島町、中伊豆町、小山町、芝川町、静岡市、富士川町、川根町、本川根町、相良町、榛原町、掛川市、袋井市、浜岡町、森町、浅羽町、竜洋町、天竜市、春野町、龍山村、佐久間町、水窪町、細江町、引佐町、三ヶ日町

市町村等砂防担当職員研修

山梨県の砂防事業現地視察



日程

11月19日 砂防に関する講義

- 最近の砂防行政について
- 土砂災害の発生状況について
- 砂防関係事業(ソフト対策)について

11月20日 現場研修

- 芦安堰堤(登録有形文化財)南アルプス市
- 信玄堤 南アルプス市、竜王町
- 神有地すべり 六郷町

11月19～20日、市町村等砂防担当職員の研修会を開催し、29名の参加がありました。

初日の講義は砂防室職員が講師を務め、始めに望月砂防室長より「最近の砂防行政について」、次に水野傾斜地保全係長より「土砂災害の発生状況について」、最後に松村副主任より「砂防関係事業(ソフト対策)について」の説明が行われました。また、講義終了後には質疑応答が行われ、活発な意見交換がなされました。

2日目の現場研修は、山梨県砂防課の御協力を得て芦安堰堤、信玄堤、神有地区地すべり地等を見学しました。

芦安堰堤(南アルプス市：旧芦安村)のある御勅使川は山梨県内でも有数の暴れ川であり、芦安堰堤は大正5～15年にかけて施工され、重力式(下段)+アーチ式(上段)の複合堰堤で、全国で初めてコンクリートを使用した堰堤で、平成9年に登録有形文化財に指定されました。

信玄堤(南アルプス市、竜王町)は御勅使川の氾濫から甲府市街を守るために武田信玄が築いた堤防で、御勅使川から釜無川合流地点に多数の遺構が残されていました。

神有地区は(六郷町)は、フォッサマグナ地帯に位置し、向斜・背斜が複雑に入り組んだ地質構造をしており、六郷町内には地すべり危険箇所が16箇所も存在しています。平成3年には台風18号による豪雨に見舞われ、以来アドバイザー制度を活用し国から専門家を招いて対策工法を検討しています。崩壊地頭部は公園として整備されており、地域住民が管理を行っているとのことで、参加者は山梨県担当者の説明に興味深く耳を傾けていました。



講義の様子



神有地区

参加市町村等

- 熱海市、伊東市、沼津市、三島市、裾野市、修善寺町、韮山町、中伊豆町、富士宮市、静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、御前崎町、相良町、榛原町、掛川市、袋井市、大東町、天竜市、春野町、佐久間町、引佐町、沼津土木事務所、富士土木事務所、静岡土木事務所、浜松土木事務所

参加者の声

掛川市土木課 戸塚和美

登録有形文化財の芦安堰堤(大正期)、信玄堤等の見学はあいにくの霧雨であったが、甲斐路の紅葉はすでに平野部に迫る勢いで、目の保養となることしばしであった。そんな霧雨煙る紅葉に彩られた深山幽谷に屹立する芦安堰堤は、近代建造物でありながら周囲の景観とも何ら違和感なく、むしろ星霜を経た歴史的建造物として見る者を圧倒する偉容を誇っていた。その後見学した、石積み出し・将棋頭・信玄堤等の戦国期の治水遺構では、単に観光資源にとどまらず、戦国武将の領国経営として治水がいかに重要であったかを雄弁に物語る歴史的遺構としての重要性を再認識させるものであった。砂防ハード事業においては、自然景観はもちろんのこと、これら歴史的建造物においては未永く後世に伝えるべく、歴史的景観をも考慮した事業推進の必要性を痛感した。



参加者の皆さん

この視察研修は、来年度も実施を予定しております。研修に関する希望等ございましたら、お寄せ下さい。

「東海地区 全国治水砂防協会支部長・砂防課長会議」開催される

11月20日、東海地区砂防協会支部長・砂防課長会議が三重県菰野町で開催されました。

当日は、国土交通省砂防部より坂口保全課長、全国治水砂防協会より大久保理事長、各県支部長、砂防課長が出席し、静岡県からは原田袋井市長、山崎砂防統括監が出席しました。

会議では、坂口保全課長から平成15年の土砂災害状況及び平成16年度砂防関係新規重点事業についての説明が、また大久保理事長からは市町村職員研修会の再開についての説明、各県より各支部の活動状況についての報告、災害に関する危機管理及び広報周知について、市町村合併後の砂防分野における問題点と要望事項等について話し合いが行われました。

21日には、西之貝川・小滝川災害関連緊急砂防事業(藤原町)、音無川通常砂防事業(菰野町)を視察しました。



会議の様子

「富士山の土砂災害対策に関する連絡会」開催される

12月9日、「富士山の土砂災害対策に関する連絡会」が砂防会館で開催されました。この連絡会は、富士山の侵食や噴火等に起因する土砂災害について、関係する市町村等にその現状と対策について情報の提供を行うとともに、参加者相互の意見交換を行うものです。

当日は、全国治水砂防協会、国土交通省、静岡県、山梨県、神奈川県富士砂防事務所の担当者が出席し、当県からは、砂防室、小山町、御殿場市、芝川町、裾野市、長泉町、沼津市、富士市、富士宮市、三島市の首長や担当者が出席しました。

富士山の土砂災害全般について

噴火による土砂災害について

- 最近の動向
- ハザードマップの読み方・活用法
- 住民等対応 ほか

滋賀県・富山県・神奈川県の砂防協会が本県で現場視察

滋賀県治水砂防協会会員研修【10月28～29日】

10月28日、滋賀県治水砂防協会の皆さんが、童子沢親水公園(金谷町)を視察されました。島田土木事務所、金谷町の担当者により周辺の地域整備計画に合わせ整備された砂防施設について現地説明が行われ、参加者の皆さんは、散策しながら維持管理等について熱心に質問されていました。

29日には、静岡県地震防災センター(静岡市)を見学されました。



童子沢親水公園(金谷町)

富山県治水砂防協会会員及び砂防担当職員研修【11月11～12日】



県庁別館21階展望ロビー(静岡市)

11月11日、富山県治水砂防協会の皆さんが、静岡県地震防災センター、静岡県防災局を訪問し、その後、都市山麓グリーンベルト整備事業(静岡市)を県庁別館21階展望ロビーより視察されました。

地震防災センターでは、副所長より静岡県内の地震対策全般について、防災局では災害対策本部や総司令室の概要の説明を受けられました。また、あいにくの雨でグリーンベルトの現場は霧の中ではありましたが、パワーポイント・写真等による説明に、参加者の皆さんは活発に質問されるなど関心を示されていました。

神奈川県治水砂防協会砂防担当職員研修【11月18～19日】

11月18日、神奈川県治水砂防協会の皆さんが、由比地区の補助地すべり現場(由比町)、木和田川の砂防環境整備事業(岡部町)、静岡県地震防災センターを視察されました。

由比地区では、現場の状況や当県のソフト対策などの質問を多数受けました。また、木和田川砂防学習ゾーンでは、園路を歩きながら熱心な質問等があり、訪れる人々に憩いと安らぎの場を提供するとともに、砂防事業に関する啓発を図っている施設に関心が寄せられました。



木和田川砂防学習ゾーン(岡部町)

土砂災害防止法への取組状況

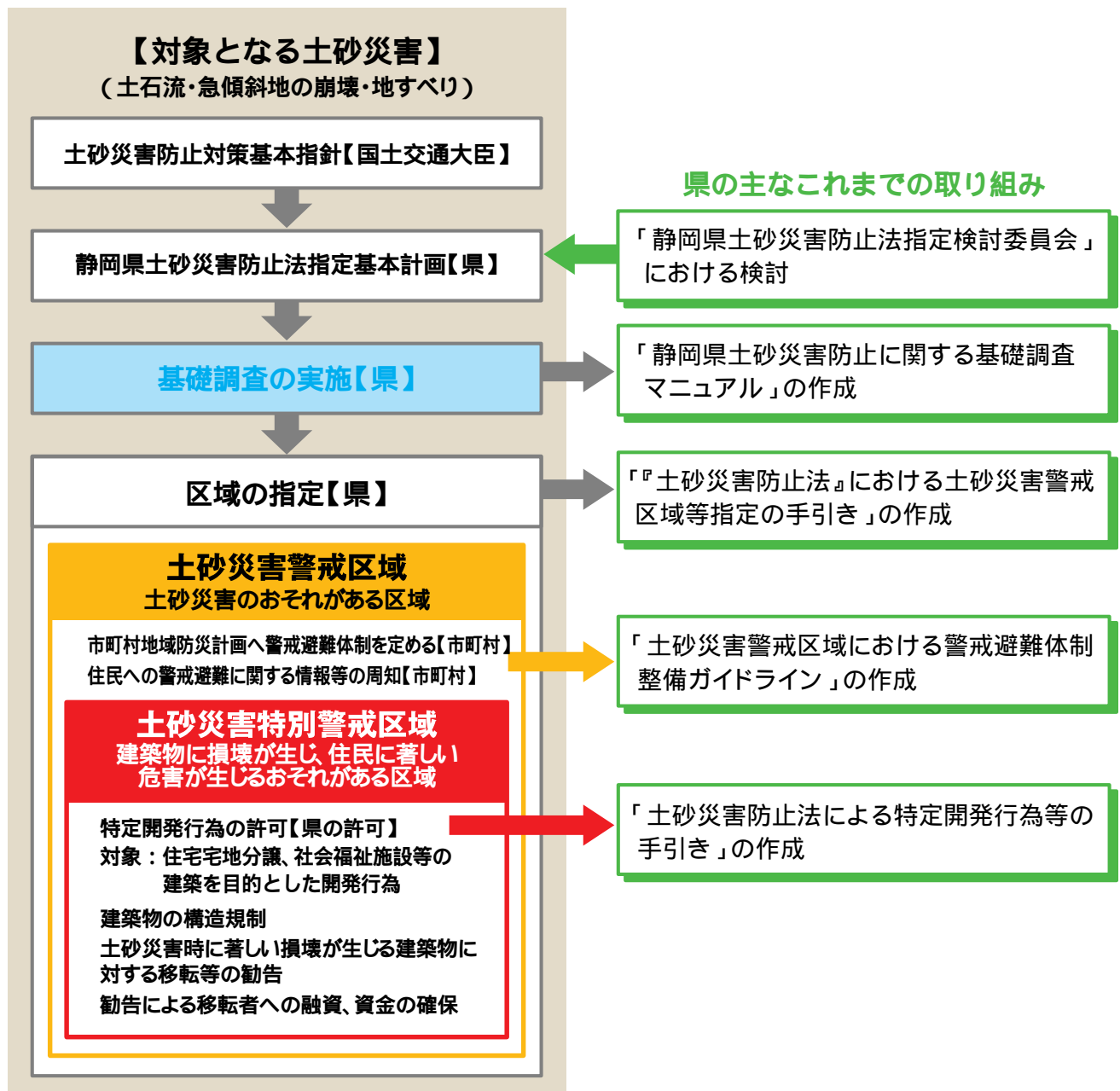
概要

土砂災害防止法は平成13年4月1日に施行された、土砂災害のおそれのある土地における警戒避難体制の整備や住宅等の新規立地を抑制する等ソフト対策を推進する法律です。

県では土砂災害防止法に基づく区域指定を進めるため、学識経験者等からなる指定検討委員会において意見・助言を頂きながら指定計画を策定するとともに、区域指定を行うための調査や指定の手続き方法等についてとりまとめを行っています。

また、モデル地区において現地調査の実施や地元説明会の開催など、区域指定に向けた取り組みも進めています。

なお、平成15年12月の県議会本会議において、「土砂災害防止法」を踏まえた土砂災害対策の取り組みについての質問がありました。





第4回「土砂災害防止法指定検討委員会」の開催



10月24日、静岡市内で、第4回(平成15年度第1回)「静岡県土砂災害防止法指定検討委員会」を開催しました。

この検討委員会は、土砂災害防止法を円滑に運用するため、学識経験者や国・市町村職員の代表、地域の自主防災会の代表から意見・助言を頂くものです。

委員会では、県の指定の優先方針や手続き方法等をまとめた「静岡県土砂災害防止法指定基本計画」についての検討を行いました。各委員から優先方法に関する意見や、住民への周知に関する有益な意見などを頂きました。これらの意見を参考にして次回委員会までに基本計画の最終案等を取りまとめていく予定です。



第4回委員会(静岡市)



モデル地区での地元説明会開催



地元説明会(静岡市)

県では、土砂災害防止法の運用検討と併せて9月の掛川市を皮切りに、静岡市、三島市のモデル地区において、土砂災害防止法の区域指定に向けた地元説明会を開催しています。

地元説明会では、指定の対象となる地元関係者に集まっていたき、土砂災害防止法の概要や、区域指定に向けた調査の説明を行うとともに、調査のための立ち入りをお願いを行っています。地域の方から「指定されるとどうなるのか?」などの様々な質問・意見に答えながら、指定に対するご理解を得ていく予定です。



第2回東海地区土砂災害防止法担当者会議で先進地広島県視察



11月28~29日、東海地区土砂災害防止法担当者会議のメンバー及び中部地方整備局職員計8名で、広島県を視察しました。広島県は、平成11年6月の豪雨による「広島災害」で多くの土砂災害による被害を受けており、土砂災害防止法に基づく指定を全国一番に実施した防災の先進県です。

広島県砂防室の担当者の方より、指定への取組状況や、土砂災害に対する避難訓練における地域住民の熱心な取組状況についての説明を聞くことができました。

29日には、広島市内にある全国初の区域指定地を視察しました。



広島市堂ヶ原川

その他の土砂災害防止法関連行事

11月	28日	全国地すべりがけ崩れ対策協議会企画小委員会(東京都)
12月	18日	第1回土砂災害防止法連絡部会(東京都)
12月	17・19・22日	土砂災害防止法県・市町村実務担当者説明会(17日東部、19日中部、22日西部)
12月	25日	土砂災害防止法庁内連絡会幹事会(県庁)
2月	4日(予定)	土砂災害防止法庁内連絡会(県庁)
2月	12日(予定)	第5回土砂災害防止法指定検討委員会(あざれあ)
2月	18日(予定)	土砂災害防止法講演会(もくせい会館)

全国グリーンベルトフォーラムで静岡県の紹介

11月10日、国土交通省中部地方整備局主催の「都市山麓グリーンベルト推進フォーラム ～みんなで話そう！グリーンベルト～」が名古屋通信会館(名古屋市)で開催されました。

このフォーラムは、現在、国の重点事業として進めている都市山麓グリーンベルト整備事業の推進のため、各地で取組を進めている関係者が情報を共有し、そのネットワークを構築していこうとするもので、グリーンベルトに携わる約200名が参加しました。

国土交通省保全課石塚課長補佐から全国のグリーンベルトの進捗状況と課題が発表された後、生駒山系・土岐川流域グリーンベルトの事例紹介があり、パネルディスカッションでは、比較的取組が進んでいる地区の関係者が発表を行いました。静岡県からは、望月砂防室長がパネラーとして、静岡市都市山麓グリーンベルトの概要と取組状況などを発表しました。



パネルディスカッションの様子

由比地区地すべり現地視察



由比地区にて

11月4日、平成16年度から新規に直轄地すべり対策事業を要求している由比地区を、国土交通省の砂防計画課板屋課長補佐、保全課古川課長補佐ほか3名が視察されました。ヘリコプターで上空から重要交通網(東名高速道路、JR東海道本線、国道1号線)との位置関係や地形及び調査範囲などを確認後、実際に現地を歩き、地すべりブロックの区分や擁壁等の変位状況を熱心に調査しました。

なお、12月24日の平成16年度政府予算案閣議決定の中で、新規着手が認められました。

県事業評価監視委員会で“口坂本地すべり対策事業継続”決定

9～11月、静岡県事業評価監視委員会による再評価の審議(委員会3回、現地視察2回)により、口坂本地すべり対策事業は、その他62事業と合わせ、対応方針を「継続」として決定しました。

公共事業の再評価は、県が所管する事業の効率性及び実施過程の透明性の一層の向上を図るため、平成10年度から実施しております。

同地区は、平成10年に再評価の審議を受け継続となり、今年度、再評価実施後5年が経過した時点で、継続中のために再評価の対象となり、平成20年度まで事業が継続となりました。

砂防研修会が開催される



富田富士砂防事務所長による講演

11月5日、静岡県建設コンサルタンツ協会主催(全国治水砂防協会静岡県支部後援)の「砂防研修会」が静岡市内で開催され、協会員のほか、国・県・市町村、建設会社など、100名を超える担当者が参加し、国土交通省富士砂防事務所の富田陽子所長が講演を行いました。

「富士山と防災、環境」をテーマとして、土石流によって発生した土砂の処理、砂防樹林帯などの富士砂防事務所の取組や、現在国で検討されている富士山噴火からの防災として、法律や情報共有などのソフト対策などの提案がありました。

砂防治山連絡会議を開催

12月16日、砂防及び治山関係の、国の地方局及び直轄事務所と県の担当者が参集し、静岡県砂防治山連絡会議を静岡県総合研修所もくせい会館で開催しました。

この会議は、砂防・治山の両事業の重複を避け、効率的な事業を相互に実施することを目的に、毎年この時期に開催し、両事業について連絡調整を緊密に行っています。総括打合せの後、個別打合せとして各機関における来年度以降予定されている事業について説明を行い、今後の進め方について調整を行いました。



連絡会議の様子

小学生を対象とした土砂災害出前講座の開催



出前講座の様子

12月15日、静岡市立北沼上小学校において土砂災害出前講座を開催しました。

今回の出前講座では4年生、5年生の生徒23名を対象に、「土砂災害とはどのようなものか」「土砂災害を防ぐための対策」「土砂災害を防ぐためにみんなができること」等をOHPやビデオを使って説明しました。また、小学校の近くにある急傾斜地崩壊防止施設を見学し、土砂災害の恐ろしさや、土砂災害防止の大切さを学んで頂きました。

今後も、小中学生を対象とした出前講座を各地で開催する予定ですので、出前講座の御希望がありましたら砂防室までご連絡願います。

宮城県北部地震の被害状況を現地調査

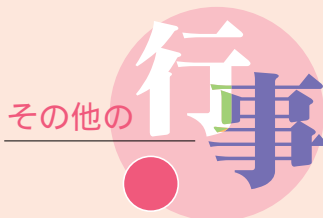
平成15年7月26日に宮城県北部で発生した地震による土木災害の実態を把握するため、11月27～28日、現地に砂防室を含む土木部4名からなる調査団を派遣しました。

一行は、27日に宮城県庁を訪問後、28日には被害が最も大きかった石巻土木事務所管内を調査しました。震度6弱以上の地震を3回(0時頃、7時頃、17時頃)も受けた地域は、いたるところで斜面の崩壊がみられ、地震のおそろしさを痛感しました。地震発生が深夜や食事時であったにも関わらず、死者を出さずに済んだのは、日頃からの地震への備えと早急な自主避難があったからということです。

今回被害にあわれた地域の早期復旧を願っております。



往還急傾斜地(宮城県内)浅部風化岩の崩壊



平成15年	10月	15～17日	全国地すべり現地討論会(秋田県)
		16～17日	東海地区直轄事務所長、砂防課長会議(三重県)
		25日	森町防災研修会(静岡市)
		29日	東海ブロック補助連絡会議(名古屋市)
11月	5～6日		東海地区砂防事業担当者会議(岐阜県)
	6～7日		全国地すべりがけ崩れ協議会理事会(宮城県)
		7日	ジオフォーラム2003(静岡市)
		9日	安倍川SABOウォーク(静岡市)
12月	1日		全国砂防主管課長会議(東京都)
	18～19日		東海地区地すべり・急傾斜事業担当者会議(三重県)

がまちの砂防

東伊豆町

東伊豆町 建設課長 小澤正幸

東伊豆町は、伊豆半島東海岸の中央部に位置し、北西に天城山系の山々と東南の相模灘に囲まれ、東西15.04km、南北13.78kmの温暖な海洋性気候(平均気温15.7℃)のエリアにあり、風光明媚な観光地です。

稲取地区では、江戸時代より女の子が生まれたお祝いに、はぎれを用いた手作りの小物を、雛壇の両脇に一对のつるし雛として飾る風習があり、子供の健やかな成長を願う「雛のつるし飾りまつり」が毎年1月下旬から開催され、活況を呈しております。

昭和53年1月の伊豆大島近海地震では、道路の崩壊、大規模ながけ崩れ、家屋の裏山の崩壊による人的被害が発生し、死傷者39名、住宅被害74戸、道路破損496箇所の壊滅的な被害



熊明ノ沢砂防堰堤

を受け、国道135号線等道路網が寸断され、一時陸の孤島となりました。また、平成3年の集中豪雨では、河川の氾濫や土石流による護岸決壊、田畑の流出等多数の被害を受けました。

本年度も7、8月の集中豪雨により河川や道路が被災し、現在も復旧工事が進められております。国・県をはじめとする関係機関の皆様のご支援により道路及び河川改修、砂防等の事業が施工され、地域住民はもとより町も感謝しております。

しかし、未整備な危険渓流、急傾斜地崩壊危険箇所等も多く、今後も国・県のご支援を賜りながら土砂災害から住民の生命財産を守るため、住民が安全、安心に暮らせる災害に強いまちづくりを目指して努力してまいります。



雛のつるし飾り

富士川町

富士川町 建設産業課長 芦川潤一郎

富士川町は、日本3大急流の一つである富士川の河口右岸に位置し、往古から東海道、身延道、富士川の渡船、甲州との船運など交通の結節点として栄えてきました。

現在は、平成12年3月にオープンした東名高速富士川サービスエリアに併設した「富士川楽座」を中心に年間約250万人の方々が立ち寄っていかれます。「富士川楽座」主催のブラリウォークは、みかん狩りや芋掘りなど体験イベントを企画しており、年間1万人余の方々が、富士山、駿河湾などの景観も楽しみながら周遊されています。

町は、富士川に流れ込む5本の1級河川と普通河川が多数あり、可住地は町域の47%と少なく、その背後地は山



中之郷新町急傾斜崩壊危険区域

が連なり、災害の起こりやすい地形となっております。特に、急傾斜地崩壊防止工事は、急傾斜地法制定以前の昭和43年に旭町地区が施工され、現在では危険区域の内12箇所を指定し、対策工事が施されています。今年度も新規指定に向け申請等の作業を実施しています。

最近、異常気象による集中豪雨が多発しておりますので、土砂災害防災マップ等による住民の防災意識高揚と危険箇所の周知をこれまで以上に行ってまいります。まだまだ未整備箇所も多くありますので、県をはじめ関係機関の皆様のご支援をお願いいたします。



富士川楽座



豊岡村

豊岡村 建設課長 掛井修次

豊岡村は、静岡県の西部、磐田郡のほぼ中央に位置し、北に北遠の山々を望み、西に雄大な天竜川、東に磐田原台地及び敷地の山並みを擁しています。気候は年間平均気温15.1度と温暖で、緑豊かな村です。

総面積は39.78km²、行政面積の約半分が山林で占められ、約11,000人の村民が暮らしています。

多くの山林を持つ当村では、一度災害に見舞われると大きな爪あとを残します。

近年では、平成10年9月24日の集中豪雨時に、裏山が崩れて民家一棟が全壊しました。これを契機に平成10年に



西之谷急傾斜地崩壊危険区域



豊岡梅園

西之谷北地区が当村2箇所目の急傾斜地崩壊危険区域に指定され、平成10年度から平成13年度にかけて、整備されました。

今後も災害防止に万全を期すると共に、関係機関のご協力を賜りながら、村民の生命、財産を守るため努力して参りたいと思います。



浜北市

浜北市 建築住宅課長 渥美敬七

浜北市は、静岡県西部地域に位置し、東に天竜川が流れ、北に赤石連峰を望む人口8万7千人の都市であり、「ゆとりと効率が調和する、みどり豊かな快適環境都市」として市政を推進しております。

当市は、本州唯一の旧石器時代人骨、「浜北人骨」が発見され、また、日本最古の歌集である万葉集にも浜北ゆかりの歌が4首詠まれております。当市の施設、万葉の森公園は、万葉集ゆかりの植物が咲き誇り、万葉食や万葉草木染め体験など、歴史のロマンを身近に感じる施設として親しまれております。



浜北市万葉の森公園



於呂急傾斜地崩壊危険区域

また、現在浜松市を含む12市町村との合併に向けて準備をすすめており、実現すれば環境と共生するクラスター型政令指定都市として発展していくことと思います。

さて、当市には1箇所の急傾斜地崩壊危険区域があり、昭和53年度から55年度にかけて、県の補助事業により施工し、市民の安全な暮らしに貢献しております。

なお、今後も定期パトロールなどにより危険区域の観察を実施し、適正な維持管理に努めてまいります。

お知らせコーナー

平成15年度「(実務担当者のための)土砂災害防止法講演会」開催

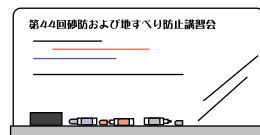
土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定を促進するため、行政の担当者を対象とした講演会を開催します。

全国における防止法の指定状況や土砂災害警戒区域における土砂災害警戒避難体制の事例等について紹介し、防止法の実務に役立てていくものです。

日時 平成16年2月18日(水) 14:00～16:30
会場 「もくせい会館」富士ホール
静岡県鷹匠3-6-1
内容 「土砂災害防止法の指定と警戒避難体制整備について」(予定)
講師 国土交通省砂防部、広島県及び広島市職員
対象 県・市町村担当者 約200名
問合せ先 静岡県土木部砂防室 TEL 054(221)3041

「第44回砂防および地すべり防止講習会」開催

日時 平成16年3月11日(木)～12日(金)
会場 砂防会館別館1階「利根」
内容 危機管理体制の構築、火山防災マップ、土砂災害とその対応・警戒避難、公共事業と会計検査等
対象 砂防および地すべり対策業務を担当する中堅職員
参加費 5,000円
主催 (社)全国治水砂防協会
問合せ先 全国治水砂防協会静岡県支部 TEL 054(221)3042



2005砂防カレンダー 現場周辺の山・谷・川の写真コンテスト

テーマ 砂防関係工事(砂防堰堤工事、地すべり、がけ崩れ対策工事など)現場や現場周辺の山、溪流、花、動物などを題材としたもの

応募資格 制限はありません

サイズ カラー写真で四切サイズ(四切ワイド含む)

締切り 冬の写真 平成16年3月31日消印有効
春の写真 平成16年6月30日消印有効

問合せ先 NPO法人 砂防広報センター
〒105-0004 東京都港区新橋6-13-1
TEL 03(3459)1591
<http://www.sabopc.or.jp/>



- 2月4日 静岡県砂防ボランティア協会総会(クーポール会館)
- 2月18日 土砂災害防止法講演会(もくせい会館)
- 2月下旬 都市山麓グリーンベルト推進ワーキング会議(静岡市)
- 5月27日 静岡県支部通常総会(予定)
- 協会本部行事予定
- 1月23日 土砂災害に対する警戒・避難のためのゼミナール(砂防会館)
- 3月11～12日 砂防および地すべり防止講習会(砂防会館)
- 5月12日 平成16年度通常総会(砂防会館)



【表紙写真】
染る樹水 西伊豆金冠山
前澤光昭(静岡市清水)

砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しております! 皆様の御協力をお願い申し上げます。詳しくは下記宛にお問合せ下さい。

編・集・後・記

明けましておめでとうございます。
昨年末は、来静された各県の砂防協会の現場視察に同行させていただきました。木和田川のつたの細道公園では、デイサービスの方々が訪れており、地域の皆さんに憩いと安らぎの場として活用されていることが嬉しく思いました。

本年も、砂防だよりをご愛読いただけますよう、よろしく願いいたします。皆様にとって、良い年となりますようにお祈り申し上げます。